

畑日記

内堀 真樹子

明けましておめでとうございます。とついこの間言っていたような気がしますが、もうすぐ2月。月日が過ぎるのは早いです。ハウスにあるお花は花売りや、花壇の植え込みで減りましたが、パンジー・ビオラがとてもきれいに咲いています。ランキュラスや黄色いお花のマルチコーレも蕾をつけて2月には綺麗に咲き始めるでしょう。棚上に置いてあるたくさんの種床に種まきをしたペニユニア・マリーゴールドなどは発芽してきました。メンバーは発芽した苗や大きく育った苗のサイズアップの植え替え、追肥作業など寒い日も行っています。外の空気が冷たい日でも、長靴が落ち葉で埋まってしまうほど落ち葉を足しながら切り返しを行っています。



先日大雪が降りました。銀世界とはこの

ことを言うんだぁ…と実感するほどの畑でした。まずは雪かき。久保さん、桑原さん、明久さんは素手のままスコップで作業を行っていたため、手が冷たくなってしまったので軍手を探すと…発見された軍手はカチカチに凍っていました。軍手をハウスに干して、結局素手で雪かき再開！みんな手が冷たいのに久しぶりの雪にどこか楽しそう。久保さんは庭の周りの芝生や落ち葉の山の雪かきをしてもらいました。作業中に時々雪の中に足がスポッ！と入ったようで「足が冷たい！」と言いつつも笑顔で雪かきを続けていました。明久さんはハウス周りの雪かき。巧みなスコップさばきでどんどん雪を移動していました。1か所終わると「雪かきします！」と自らまた別の場所を行っていました。桑原さんは雪かきをしながら一輪車を使って雪を日当たり良い場所に持って行ってくれました。ニット帽をかぶり手袋をして一輪車を押している姿は、どことなくドラマ「北の国から」の田中邦衛を思い出させてくれる手際の良さでした。大塚さんもサイズ分けして



あるポットのケースが雪で埋もれていたなので、時間をかけて取り除き、高島さんと一緒に小さいハウス内にきちんとしまっていました。ハウス内では安部さんと奥さんが植え替えを行っていました。植え替え用の土も冷たいのです。奥さんは次に使う土が少しでも冷たくないように、バケツに入れて日の当たる場所において乾かしながら行っていました。雪が降った後のお日様の暖かさを実感する日でした。

来月は節分です。節分を過ぎると春が近くなってくると聞いたことがあります…まだまだ寒い日も続きます。暖かい格好で畑のお仕事頑張りましょう(^_^)

